

令和6年10月22日

担当課		内線
フォーラムに関すること	長寿社会課	4923
釜山広域市との友好交流に関すること	国際課	2081

長崎県福祉保健部長の釜山-長崎公共福祉政策フォーラムへの参加について

このことについて、以下のとおり概要を報告いたします。

記

- (1) 日 時 令和6年10月7日(月)～10月9日(水)
- (2) 場 所 釜山広域市役所(韓国 釜山広域市)
- (3) 参加者 キム・グァンフェ副市長ほか約200名
- (4) 当 方 新田惇一 福祉保健部長 中村直輝 長寿社会課長ほか
- (5) 概 要

本県と友好交流関係にある韓国釜山広域市の招へいを受け、釜山広域市及び釜山社会福祉行政研究会主催の「釜山-長崎公共福祉政策フォーラム」に参加し、本県の高齢者福祉施策について、現状と様々な取組を紹介した。釜山広域市においては、今後、日本を上回る高齢化スピードが見込まれ、すでに地域コミュニティの維持や孤独死への対応などの課題が生じており、高齢化の先進地である日本の取組を参考にしたいと、同市から希望があったもの。

長崎県からは、人口減少による介護分野の担い手不足への対応、地域における医療、介護などの効率的なサービス提供のための取組(地域包括ケアシステム構築)など、現在の幅広い施策を紹介したうえで、意見交換を行った。また、釜山広域市の高齢者・障害者・保育サービス、外国人向け支援などが一体となった地域ケアセンターを視察し、複数の悩みを抱える方にワンストップで対応する体制づくりの重要性を認識した。

釜山広域市は人口300万人を超える大都市であり、福祉をはじめとする社会問題も複雑多岐に渡る。急速に進む高齢化に対し、日韓両国が情報を共有し、効率的に問題解決を図るため、今回の交流の機会は、たいへん有意義で貴重なものであった。

